

※ 文字サイズは10pt以上とし、
5ページ以内で作成すること。

(様式第2号)

協働事業企画書

1 募集の種類	<input type="checkbox"/> 市民提案型 (□上限 20 万円コース □上限 50 万円コース) <input type="checkbox"/> 行政提案型 (事業企画 :)
2 提案団体名	
3 事業の名称等	提案年度 (初年度 ← ・ 2 年目 ・ 3 年目)
4 事業の概要	① 解決したい課題または把握している市民ニーズ (この事業が必要である社会背景、地域課題、市民ニーズなど) 解決したい地域課題の現状や、課題が生じている原因、課題に対する市民のニーズについてご記入ください。
	② 事業の目的 (何のためにこの事業を行うか) ①の地域課題の現状等を踏まえ、事業の実施によりどのような課題を解決し、何を実現するかについてご記入ください。
	③ 実施する事業の内容 (誰を対象に、どこで、何を、どんな手法で実施するか 等)
	事業の受益対象者、実施場所、実施手法などについて、具体的かつ簡潔にご記入ください。
	④ 事業の成果 (事業実施によりどのような成果が得られるか、具体的な成果指標 等) 事業の実施により地域にどのような成果(変化)が生まれるのか、またそれを確認するための具体的な成果指標についても合わせてご記入ください。
⑤ 事業のスケジュール 事業予定期間 : 年 月 ~ 年 月 事業の実施時期、手順について具体的にご記入ください。	

行政提案型に■または□し、募集の事業企画名を記入してください。

提案書と同じ事業名を記入してください。

初年度に○を付けてください。

5 協働の必要性 及び役割分担等	① 協働で取り組む必要性 (団体単独でなく、市と協働で取り組むことが必要な理由)
	なぜ行政と協働で実施することが必要なのか、団体単独で行うよりも協働が適している理由についてご記入ください。
	② 協働で取り組むことで得られる相乗効果・メリット (市と協働で実施することで、市民・団体・市にどのようなメリットがあるか)
	【市民】
	【団体】
	【市】
	協働によって、市民満足度がどのように向上し、 団体と行政それぞれに どのようなメリットがあるかについてご記入ください。
	③ 事業の役割分担の想定 (事業にかかわる各者の役割について具体的に記入)
	【団体の役割】
	【市に期待する役割】
	【その他協力団体等の役割】
	協働において想定される 役割分担について具体的に ご記入ください。 団体と行政の他に協力団 体がいる場合には合わせ てご記入ください。
6 事業終了後の 次年度以降の 取組予定・成果 の活用	(今年度の事業実施を経て次年度以降どのように取組を継続していくか、この事業により得られた成果をどのように活用していくか 等)
	今年度の事業の実施成果の活用方法を含め、次年度以降の事業の実施規模や取組の発展性、事業自立化に向けた財源確保の見込み等について、数値や金額などの目安を用いながらできるだけ具体的にご記入ください。
7 その他	(提案における創意工夫、アピールポイント、継続提案の場合の過去実績 等)
	提案に対する思いや、団体の持つ専門性やノウハウなどについてご記入ください。また、過去に採択された提案の場合は、実施した取組や実績についてもご記入ください。